



2025年度 東洋大学懇談会

文学部

国際文化コミュニケーション学科

Department of International Culture and Communication Studies

2025.06.08

目次

- I. 在学生の声紹介
- II. 学科概要とニュース
- III. 学科内の異文化交流
- IV. 留学制度・海外文化研修体制の充実
- V. 資格取得を応援
- VI. 卒業生の進路(就職状況)
- VII. 大学院紹介

I 学科在学生に聞いてみました！ この大学・学科の良いところ

1. 留学生との交流が多く、直に文化を学べる
2. 海外留学・研修制度が充実している
3. 学科の先生が優しい・親身・距離感が近い
4. 英語以外の言語や文化が学べる
5. 英語開講の授業が多い、授業でグループワークが多い
6. 学食が美味しい、構内がキレイ、学習スペースがある

学びたければ学べる環境



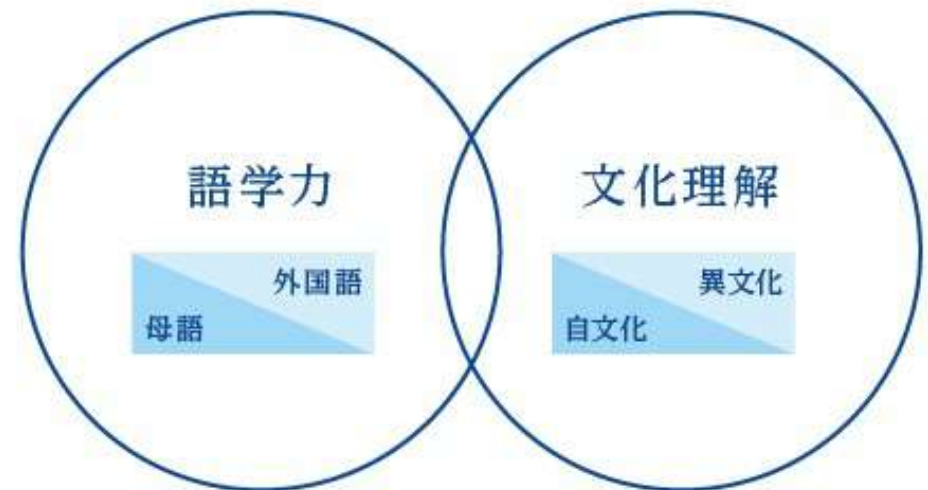
Ⅱ 学科の概要

- 学科のコンセプト、カリキュラム
- 教員紹介
- 学科ニュース

学科のコンセプト

国・文化・価値観の違いを越えて 信頼関係を築くための 真のコミュニケーション力を持つ人材を育成

国際化社会における「コミュニケーション」は、「伝える力」と「くみ取る力」のどちらが欠けても成立しません。その「伝える力」と「くみ取る力」は、母語と外国語の両方の「語学力」と、自分と相手の両方の「文化理解」によって身につけ、より深い信頼関係の次元へと私たちを導くのです。この「語学力」と「文化理解」を活かし、グローバル化していく社会を生き抜く「真のコミュニケーション力」を養成するのが国際文化コミュニケーション学科です。



学科のカリキュラムマップ(2025～)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマポリシー
	春(第1セメスタ)	秋(第2セメスタ)	春(第3セメスタ)	秋(第4セメスタ)	春(第5セメスタ)	秋(第6セメスタ)	春(第7セメスタ)	秋(第8セメスタ)	
必修	入門ゼミナール	国際文化コミュニケーション概説			ゼミナールA	ゼミナールB	卒業論文 卒論ゼミナールA 卒論ゼミナールB		高度な英語運用能力を身に付け、多極化するグローバル社会の中で自ら考え行動し発信することができる。 資料読解・分析力、論理的思考力、表現力を身に付け、自ら設定した問題を解決していくことができる。
英語コミュニケーション	英語リスニングとスピーキングⅠA 英語リスニングとスピーキングⅠB 英語リーディングとライティングⅠA 英語リーディングとライティングⅠB		英語リスニングとスピーキングⅡA 英語リスニングとスピーキングⅡB 英語リーディングとライティングⅡA 英語リーディングとライティングⅡB		英語リスニングとスピーキングⅢA・ⅢB 英語リーディングとライティングⅢA・ⅢB ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅱ 原書で読むドイツ文学Ⅱ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ 原書で読むフランス文学Ⅱ		卒業論文 卒論ゼミナールA 卒論ゼミナールB		英語のみならず、ドイツ語・フランス語・日本語などの多言語への理解、国際コミュニケーションを推進する意思と力を身につけている。
国際文化	英語学A・B 言語論A・B 英語文体論A・B 資格検定英語A・B 高等英文法A・B 放送英語A・B Intercultural Communication Studies A・B Communication in Additional Languages		上級ビジネスコミュニケーションA・B 英語で学ぶ異文化交流Ⅰ・Ⅱ 通訳練習(英語)A・B 翻訳練習(英語)A・B 翻訳練習(ドイツ語)A・B 翻訳練習(フランス語)A・B ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅰ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅰ 原書で読むドイツ文学Ⅰ 原書で読むフランス文学Ⅰ Strategies for Intercultural Communication		リサーチ・スタディーズ(表象文化) リサーチ・スタディーズ(言語文化) リサーチ・スタディーズ(地域文化) リサーチ・スタディーズ(科学文)		多文化社会を学ぶ 文学と社会 児童文化論A・B 日本文化表象ⅠA・ⅠB ジャパンニーズ・リテラチャーA・B ジャパンニーズ・アニメーションA・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B		自国の文化及び異文化についての深い理解と教養、複眼的な視点を持ち、バランスのとれた国際感覚を身につけている。
資格・キャリア	日本語教育論A・B 日本語教育文法 日本語教育政策		日本語教育実践指導A・B 現代日本語概説 日本の言語行動 第二言語習得論 認知と言語 国際文化理解 日本語音声学 対照言語学		サイエンス&カルチャー 映画表象論A・B 美術表象論A・B 異文化交流論ⅠA・ⅠB 日本文化表象ⅡA・ⅡB		異文化交流論ⅡA・ⅡB		学科での学修を活かして将来のキャリア形成を行う自覚と能力を身につけている。 多様な環境の中で、自己を律し、他者と協働し、社会の発展に貢献することができる。
			キャリア形成デザインⅠ 海外における日本語教育		日本語教授法A 日本語教授法B		キャリア形成デザインⅡ 日本語教育実践研修		

カリキュラムの概要①

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマポリシー
	春(第1セメスタ)	秋(第2セメスタ)	春(第3セメスタ)	秋(第4セメスタ)	春(第5セメスタ)	秋(第6セメスタ)	春(第7セメスタ)	秋(第8セメスタ)	
必修	入門ゼミナール	国際文化コミュニケーション概説			ゼミナールA	ゼミナールB	卒業論文 卒論ゼミナールA	卒論ゼミナールB	高度な英語運用能力を身につけ、多様化するグローバル社会の中で自ら考え行動し発信することができる。 資料読解・分析力、論理的思考力、表現力を身につけ、自ら設定した問題を解決していくことができる。
	英語リスニングとスピーキングⅠA 英語リーディングとライティングⅠA	英語リスニングとスピーキングⅠB 英語リーディングとライティングⅠB	英語リスニングとスピーキングⅡA 英語リーディングとライティングⅡA	英語リスニングとスピーキングⅡB 英語リーディングとライティングⅡB					

1年次は英語に加え、ドイツ語・フランス語・中国語から1言語を選択し学びます(留学生の場合は英語と日本語を学びます)。

3年次にゼミに所属し、世界の、そして日本の言語・文化・コミュニケーションについての理解をさらに深め、4年次には学びの集大成として卒業論文を執筆します。

カリキュラムの概要②

	1年次	2年次	3年次	4年次	
言語 コミュニケーション	英語学A・B 言語論A・B 英語文体論A・B 資格検定英語A・B 高等英文法A・B 放送英語A・B Intercultural Communication Studies A・B Communication in Additional Languages				英語のみならず、ドイツ語・フランス語・日本語などの多言語への理解、国際コミュニケーションを推進する意思と力を身につけている。
	上級ビジネスコミュニケーションA・B 英語で学ぶ異文化交流 I・II 通訳練習(英語)A・B 翻訳練習(英語)A・B 翻訳練習(ドイツ語)A・B 翻訳練習(フランス語)A・B ドイツ語で学ぶ異文化交流 I フランス語で学ぶ異文化交流 I 原書で読むドイツ文学 I 原書で読むフランス文学 I Strategies for Intercultural Communication		英語リスニングとスピーキングⅢA・ⅢB 英語リーディングとライティングⅢA・ⅢB ドイツ語で学ぶ異文化交流Ⅱ 原書で読むドイツ文学Ⅱ フランス語で学ぶ異文化交流Ⅱ 原書で読むフランス文学Ⅱ		
国際文化	リサーチ・スタディーズ(表象文化) リサーチ・スタディーズ(言語文化) リサーチ・スタディーズ(地域文化) リサーチ・スタディーズ(科学文)				自国の文化及び異文化についての深い理解と教養、複眼的な視点を持ち、バランスのとれた国際感覚を身につけている。
	多文化社会を学ぶ 文学と社会 児童文化論A・B 日本文化表象ⅠA・ⅠB ジャパニーズ・リテラチャーA・B ジャパニーズ・アニメーションA・B アメリカ文化・文学研究A・B イギリス文化・文学研究A・B ドイツ文化・文学研究A・B フランス文化・文学研究A・B				
	サイエンス&カルチャー 映画表象論A・B 美術表象論A・B 異文化交流論ⅠA・ⅠB 日本文化表象ⅡA・ⅡB		異文化交流論ⅡA・ⅡB		

1年次～4年次まで複数の言語文化や国際・地域文化、表象文化などを幅広く学びます。

カリキュラムの概要③

	1年次	2年次	3年次	4年次	
資格・キャリア	日本語教育論A・B 日本語教育文法 日本語教育政策 日本語教育実践指導A・B 現代日本語概説 日本の言語行動 第二言語習得論 認知と言語 国際文化理解 日本語音声学 対照言語学				学科での学修を活かして将来のキャリア形成を行う自覚と能力を身につけている。 多様な環境の中で、自己を律し、他者と協働し、社会の発展に貢献することができる。
	キャリア形成デザインⅠ 海外における日本語教育				
	日本語教授法A	日本語教授法B	キャリア形成デザインⅡ 日本語教育実践研修		

キャリアデザインのための科目や、資格取得のための科目も設置されています。

学科教員紹介

- 朝比奈 美知子(教授) (フランス文学文化、比較文学文化)
- 和泉 司(教授) (日本近現代文学)
- 大野 寿子(教授) (ドイツ文学文化、伝承文学(グリム童話) 大学院専攻長)
- 竹内美紀(准教授) (児童文学、翻訳論)
- 竹野谷 みゆき(教授) (社会言語学、語用論)
- 鷹取勇希(助教) (英語学、言語的文化的多様性、地域研究)
- 馬場今日子(教授) (第二言語習得) 学科長
- 萩原 喜昭(教授) (電波天文学)
- 平畑 奈美(教授) (日本語教育、国際人材育成論)
- 堀 ひかり(准教授) (視覚文化論、ジェンダー論、映像学)
- 岩井 季緒(准教授) (異文化コミュニケーション、英語教育)
- 上見めぐみ(講師) (Teaching English to Speakers of Other Language (TESOL))
- Chu, Johnny Tim(講師) (English Language Education)

学科ニュース

- ① 2年ゼミは選択に、3・4年ゼミはさらに少人数になりました。
- ② 日本語教員養成プログラムが国家資格化
- ③ 異文化コミュニケーション能力強化プログラムが始動しました。

ニュース①：2年ゼミ

• 2年ゼミは、

リサーチ・スタディーズ(言語文化)

リサーチ・スタディーズ(表象文化)

リサーチ・スタディーズ(地域文化)

リサーチ・スタディーズ(科学文化)

の4分野から選択し、それぞれの研究の基礎を学びます。

ニュース②：日本語教員養成プログラム



ニュース②：日本語教員養成プログラム

- 本学は、「登録日本語教員養成機関」ならびに「登録実践研修機関」両方に登録されました。
- 本学科はこのプログラムの履修がしやすくなっています。

ニュース③：ICC強化プログラム

- ICC (Intercultural Communicative Competence)
= 異文化コミュニケーション能力
- 2025年度から、ICCを強化するプログラムが始まりました。

Intercultural Communication Studies A Lesson 5 – Nonverbal Communication (非言語コミュニケーション)



In November 2009, a photo of U.S. President Barack Obama visiting Japan and bowing deeply to Japan's Emperor and Empress was reported, provoking **different reactions** in the United States and Japan. (この写真への日米の反応の違いは?)



Former Vice President Dick Cheney said that no president of the United States should have to bow to anyone. 屈辱的

A conservative questioned why President Obama acted the way he did. 信じられない

The Washington Times criticized it as "obsequious body language." 卑屈なボディランゲージ



文化が異なれば「おじぎ」という非言語コミュニケーションの受け止め方も異なるという例

日本国内では、オバマ大統領の深いお辞儀は「礼儀正しい」「日本文化への理解を示す」として、好意的に受け止められた。

『ジャパントイムズ』の社説は、「オバマ氏のお辞儀は、誠実な敬意の表れであり、健全な関係への一歩」と評価した。

宮内庁の関係者も「自然で適切な挨拶だった」とコメントした。

Intercultural Communication Studies A Lesson 2 – Power Relations (コミュニケーションと力関係)

“Power (権力)” in cross-cultural communication has a significant impact on communicative exchanges. Power is created by factors such as social status, language ability, gender, race, nationality, and cultural background.

On February 28, 2025, President Trump and President Zelenskyy had a meeting at White House. It began in a friendly manner but ended in a quarrel.

What kinds of power relations can you observe? Who had more power in the communication, and why?



<https://www.theguardian.com/us-news/2025/feb/28/trump-zelenskyy->

「どんな力関係がありましたか？」
ビデオ視聴後の学生の意見

- President Trump had more power than President Zelenskyy.
- Native English speakers vs Non-native English speaker
- Big country vs Small country
- Two speakers vs One speaker
- Home vs Away
- Fund provider vs Fund receiver
- In a war vs Not in a war

Ⅲ 学科内の異文化交流

- 学生数の20%程度を外国人留学生で構成
(中国、韓国、ブラジル、イタリア、マレーシア、香港、ベトナム、ミャンマーからなど)
- 少人数制のゼミナールにも留学生が参加
- 異文化交流の実践的空間が授業内外にあります。

IV 留学制度・海外文化研修体制の充実

1. 留学プログラム
2. 奨学金制度
3. 学科の留学支援体制
4. 海外文化研修制度

1. 留学プログラム①

1. 東洋大学はアジア、ヨーロッパ、アフリカ、北欧、アメリカなど世界37カ国・地域、250以上の大学と国際協定を締結。
2. 約1年の長期留学、語学留学、約一か月の語学セミナーなどのオプションがある。

教職を取っていると長期間留学することが難しいので、様々な期間・渡航先かがあって助かりました



1. 留学プログラム②

- 国際教育センターの「語学力向上支援プロジェクト」の「留学支援LEAP」
- 課外授業として、少人数英会話、外国語資格試験講座、1対1のライティング支援などもあります。
- ↑「少人数英会話」は2024年度より**無料化**！

The image shows two promotional materials for Toyo Achieve English English Lectures. The left poster is a detailed schedule table with columns for course type, subject, instructor, and time. The right poster is a colorful flyer with a teacher and students, featuring the text 'すべての東洋大学生に英語力を磨く機会を。' (Opportunity for all Toyo University students to improve their English skills.) and '受講料 無料!' (Tuition Free!).

講座名	科目	担当	小室	会場	受講料
1年	基礎英語	中野 悠	1001	国際教育センター	無料
2年	基礎英語	中野 悠	1001	国際教育センター	無料
3年	基礎英語	中野 悠	1001	国際教育センター	無料
4年	基礎英語	中野 悠	1001	国際教育センター	無料

学科学生の留学先（2025年度出発）

ディーキン大学(オーストラリア)

ウーロンゴン大学(オーストラリア)

ウィニペグ大学(カナダ)

ダブリンシティ大学(アイルランド)

ヨークセントジョン大学(イギリス)

などの他、ハンガリー、ベルギー、オランダ、オーストリアなどにも留学しています。

2. 奨学金制度

1. 学生交換協定に基づく協定校の場合、原則留学先の授業料は免除
2. 条件を満たせば、海外留学促進奨学金の「グローバルリーダー型奨学金」・「トップ大学型奨学金」を受給できる

3. 学科の留学支援体制

1. 留学ガイダンスの実施
学科独自の「留学の手引き」も毎年作成(30ページ超！)
2. セメスター制の導入
3. 単位認定制度

4. 海外文化研修制度

1. 専任教員が企画・引率する海外文化研修も毎年様々なものが実施されています。
2. 2023年度 ドイツ・スイス研修旅行 (学科の大野先生)→
3. 2025年度 ウズベキスタン研修予定(学科の平畑先生)
4. 異文化コミュニケーションに関する研修も計画中

2023年度教育力強化特別予算事業「異文化を学び自文化を学ぶ」
文学部ドイツ・スイス研修旅行

ドイツとスイスは、同じドイツ語圏でも背負っている文化が違います。自然・環境・食文化・文学・宗教・歴史について、比較考察を行いながら、アイデンティティとは何かを一緒に考えていきましょう。(ドイツ語はスイスの公用語のひとつ)

実施：2023年9月1-14日 (12泊14日)
コストダウンできるよう調整中
費用：69~83万円
それでもスイスは高いです・・・
東洋大学奨学金 (チャレンジ型)
対象事業 (予定)

Deutschland (ドイツ)
- 環境先進都市フライブルクのどきどき
- ドイツ三大美城のひとつホーエンツォレルン城とプロイセン王家の歴史
- 黒い森 (Schwarzwald) を考える

Schweiz (スイス)
- 協定校チューリッ大学の教員・学生との交流
- 山手ホテルエート工場、サンクトガレン修道院、「ハイジ」ハウス
- ユングフラウヨッホ最高峰の眺め

引率：大野寿子 / 三重野清輝 (文学部教授)

説明会のお知らせ 文学部以外の学生ももちろん対象です
第1回：5月16日(火)12:15~13:00 6201教室
第2回：5月18日(木)12:15~13:00 6405教室
興味のある方は、説明会のいずれかに必ず参加してください

その他の学科主催の講演会など

1年次の「入門ゼミナール」や「国際文化コミュニケーション概説B」でも複数の講演会を実施(2024年度例)

国際文化コミュニケーション学科「入門ゼミナール」特別授業 Part 2

ぼくらが学校をつくったわけ

～国に恩返し～

2024年6月28日(金)

3限(6B12教室) および 4限(6309教室)

※授業内容はいずれの時間も同じ。

講師: Sharad Rai (シャラド・ライ) 氏



プロフィール
ネパール生まれ、(国に恩返し)をしたくて、放浪に YouMeSchool を開設。現在、2校で800名の生徒に高質な教育を提供している。内閣府で事業が少ないネパールに、IT会社も起業した。NPO法人 YouMe Nepal 代表。東京大学大学院博士課程在学中。

どなたでも自由に参加できます。

資料動画サイト: <https://www.youtube.com/watch?v=iq1C2LuhhY>

関連記事: <https://www.1101.com/nepal/39.html>

主催: 国際文化コミュニケーション学科 問い合わせ先: 石田仁志 (@shidat@nmu.jp)

国際文化コミュニケーション学科「入門ゼミナール」特別授業 Part 1

日本語文学を通して考える 異文化交流

2024年6月21日(金)

4限(6309教室) 及び 5限(6214教室)

講師: グレゴリー・ケズナジャット氏

4限のみ、どなたでも自由に参加できます。



プロフィール
1984年、アメリカ合衆国ネブラスカ州ライオン生まれ。2007年、クレムゾン大学を卒業後、外国語指導助手として来日。2017年、同志社大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程修了。現在は同志社大学グローバル教養学部専攻教授。2021年、『鶴川ランナー』(講談社)で第2回京都文学賞を受賞。2023年、『阿婆地』(講談社)で第16回芥川賞候補。近刊はKindle版『華遊録』(2023 10-NEXT)、『碧後Web』にて「物語を促しに」連載中。

問い合わせ先: 国際文化コミュニケーション学科 石田仁志 (@shidat@nmu.jp)

国際文化コミュニケーション学科「入門ゼミナール」特別授業 Part 3

社会に合わせて生きるから自分のために社会を変える

2024年7月12日(金)

3限(6B12教室)・4限(6309教室)・5限(6214教室)

※授業内容はいずれも同一。3限・4限のみどなたでも参加できます。

講師: 前田邦博氏



プロフィール
「NPO法人プライドハウス東京」理事、社会福祉士
経歴概要
全ての人が、ジェンダー、セクシュアリティなどの性のあり方によって取り残されることなくwellbeingを感じるこができる社会づくりに関して、プライドハウス東京などのソーシャルワーク活動を通して、感じたことをお伝えし、みなさんとともに學んでいきたいと思っています。



プライドハウス東京 UEL
<https://pridehouse.jp/legacy/>

主催: 国際文化コミュニケーション学科 問い合わせ先: 石田仁志 (@shidat@nmu.jp)

国際シンポジウム「コミュニケーションの地平を拓く」

多様かつ重層的な関係性の中で生きる今日の人間にとってのコミュニケーションの可能性と問題点について、哲学・文学・文化学・政治学・自然科学という異なる分野からの発表(日本語または英語)を通じて考えるシンポジウム。



V 資格取得を応援

学科で取得可能な科目

中学校教諭一種(英語)

高等学校教諭一種(英語)

図書館司書

司書教諭

学芸員

社会教育主事(任用資格)

社会教育士

社会福祉主事(任用資格)

日本語教員

VI 卒業生の進路（就職状況）

1. 業種としては、情報通信業、運輸・郵便業、生活関連サービス業、小売業、学校教育、地方公務員など。
2. それぞれユニークな就職活動
3. 大学院進学者も。

VII 大学院紹介①

大学院文学研究科国際文化コミュニケーション専攻

1. 英語を中核とした「言語コミュニケーション領域」と英・独・仏・日の「国際文化領域」の2領域がカリキュラムの柱
2. 英語のみで修了できる「英語トラック」も開設。国際色豊か(入学者の大多数が留学生という年度もあります)。
3. 大学院での海外留学や、学部と大学院とで合計2回の留学する学生も。

VII 大学院紹介②

大学院文学研究科国際文化コミュニケーション専攻

1. 首都大学院コンソーシアム協定聴講生制度があり、協定大学(明治大学、法政大学、共立女子大学など)の授業を履修できます。
2. 大学院科目の先行履修制度(3年次より)もあります。
3. 学内外の奨学金もあります。



ご参加ください
ありがとうございました